



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

(国際ロータリー会長 シェカール・メータ)  
2021-2022年度 国際ロータリーのテーマ  
「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」  
(第2660地区ガバナー 吉川秀隆)

WEEKLY BULLETIN  
**OSAKA**  
**NAMBA**  
大阪難波ロータリークラブ週報

# 1月 入会記念日 おめでとうございます

1月9日 宮本倫明会員 令和2年 1月31日 中川博之会員 平成31年

## 職業奉仕月間に寄せて

国際ロータリー第2660地区 ガバナー **吉川 秀隆**  
(大阪RC)



新年あけましておめでとうございます。新しい年の始まりです。36年に一度の五黄の寅年。特別な年になりそうな気がしています。私が代表を務めておりますタカラベルモントは、次の100年を歩む第一歩となる最初の年です。また、所属している大阪RCは100周年を迎えます。2660地区にとってどのような年になるのかとても楽しみです。大地を踏みしめ、蹴り上げ、空に飛び立つがごとく皆様と明るく力強く歩んでいきたいと思ひます。

さて、1月は職業奉仕月間です。新年度の最初のメッセージは、「もう一度私たちを見つめ直してみませんか、そして」としました。

大都会大阪、私たち人間が作り上げた社会、この街をどのようにご覧になりますか。若者たちは、このビルに囲まれた喧騒を見て、ただ感嘆し、華やかな将来を夢みますでしょう。しかし、実際はどうでしょうか。先進国だけでなく、アフリカ、南米を旅する中で、私はもう一度私たちの地域社会を見つめ直しています。「私たちが作り上げているこの世界は、本当に美しいのか」「この世界は子供たちにとって素晴らしいのか」と考えています。

進化が止まらない便利すぎる社会、ワンクリックもしくは一声で欲しいものや知識が手に入る世界です。その世界は紛れもなく私たちの英知によって作り出され、これからまだまだ変化していくでしょう。しかし、ふと考えると、そこに子供たちの多種多様な感性を受け入れ、刺激するものがあるのでしょうか。

私たち人間の最も素晴らしいものの一つは、感性です。その感性が様々な未知の何かを求め、新しい発見を促していきます。特に日本は、すべてのものに神が宿るという考え方を持っています。つまり、すべてに尊敬と畏怖を抱き、そこに目に見えない価値を見いだすことができるのです。しかし、技術の進歩が、家族の生活を変え、個人個人にまでその進歩の波が常に押し寄せる時代です。若者たちは、その荒波の向こうにある未知を知ることができるのでしょうか。そのような社会は子供たちにとって素晴らしい社会なのでしょうか。皆さんはどのように感じておられますか。

私たちロータリアンの根幹の一つは、ロータリーの樹に示されている職業奉仕の倫理観です。私たちは、経済の観点だけで物事を見るのではなく、私たちが人間らしく、地球とともにあらゆる生物と共存していくためにどのような活動をしていけばいいのかを考え、自分の職業を、行いを常に見つめ直さなければなりません。そして、特に私が大事にしたいのが、ロータリアン同士が互いにコミュニケーションを深め一緒に社会に力強くエネルギーを注いでいくことです。次世代への、未来社会への責任を共に果たしていきませんか。

様々なロータリアンが2660地区を支えています。その一人一人の生き方が、100年後の大阪の姿を確実にbetterなものにすると思ひています。

これらの思いから最後に、メータ会長の言葉を次のように広げてみました。

"We at Rotary, serve to change lives, not only in the present generation, but also we serve to change lives, for the future generations"

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

### これからの予定

- 1月29日 (土) 2022-23年度のための地区ロータリー財団補助金セミナー
- 2月 3日 (木) 例会中止・定例理事会 (ZOOM)
- 2月 5日 (土) 地区チーム研修セミナー 2月10日 (木) 例会未定
- 2月17日 (木) 例会未定 2月19日 (土) IM第4組ロータリーデー
- 2月24日 (木) 例会未定

今日の卓話	次回の卓話	ロータリー4つのテスト
1月27日 (木) 休会の為、ありません	2月3日 (木) 休会の為、ありません	言行はこれに照らしてから 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

1月27日 (木) は例会の予定でしたが  
大阪府にまん延防止等重点措置が  
発令されたため  
本日は休会といたします。

### ♪ 四つのテスト

- 真実かどうか
- みんなに公平か
- 好意と友情を深めるか
- みんなのためになるかどうか

**大阪難波RACより**

大阪府にまん延防止等重点措置の適用が決定しましたので、1月27日(木)に予定しておりました大阪難波ローターアクトクラブの1月第2例会は中止にいたします。

ニコニコ箱報告	
前回の合計	¥45,000
本日までの累計	¥1,500,000 (64%達成)
1月末の予算額	¥2,330,000

  

出席報告		
	前回 1月20日	3週前 12月16日
会員総数	58名	出席免除を除く MUを含む 修正出席率78.84%
出席会員数	32名	
出席率	60%	

大阪難波ロータリークラブ 例会日時 毎週木曜日 12:30  
 創立 1976年8月5日 例会場 スイスホテル南海大阪7階 芙蓉の間  
 会長: 西原芳博 幹事: 中川静夫 会報・雑誌委員長: 赤坂 宏 事務局: 安部亜希子  
 事務局 〒542-0076 大阪市中央区難波5-1-60 スイスホテル南海大阪5階  
 TEL 06-6632-3956 FAX 06-6632-3957 e-mail osaka-namba@poem.ocn.ne.jp

# 1月は「職業奉仕月間」です

前回の記録 第14回 1月20日(木)

## ★来客紹介：長田友好委員

大阪難波RAC会長エレクト  
福永翔太様



## ★会長報告：西原会長

1. 本日のお客様は、中川博之会員のゲストで大阪難波ローターアクトクラブ会長エレクトの福永翔太様、ようこそお越しくださいました。お時間の許す限りごゆっくりとお過ごし下さい。
2. 先週の定例理事会の議事録が週報に掲載されておりますが、その中で2月19日IM第4組ローターリーダーのホストクラブ東大阪東ロータークラブから移動例会の要請があり、ローターリーダーのYouTube配信を会員の皆様にスイスホテルにお集まりいただき視聴することが承認されましたが、コロナ禍の為これについて検討中との事ですので、皆様には改めてご報告させていただきます。
3. 先週、今年のスタートを切って意気込んでいましたが、この一週間でたちまち空気が変わってきました。会員皆様もお感じの通り、オミクロン株の拡大で、社会、経済、世論、全ての雰囲気去年とは180度激変し始めております。3度目のワクチン接種が待たれる中、ブレークスルー感染も増え、あちこちで色んな会合や新年互礼会なども中止の声が聞かれ、改めてコロナが及ぼす影響にあきれ返らざるを得ない今日この頃であります。今、世界では約3億3000万人のコロナ感染者を数え、死者が約550万人を超えました。しかし過去にはこれを超えるとも言われているスペイン風邪が1918年に発生し、1年以上にわたって世界的に猛威をふるっていました。世界で約5億人が感染、死者は約5000万人とも言われています。スペイン風邪は第一次世界大戦中の1918年3月にカンザス州の陸軍基地で発生し、欧州に軍隊を送ったことで欧州全域に、さらにアジア、アフリカ、南半球にも感染拡大したとの事です。当時はラジオによる公共放送が始まる前で戦時報道規制外にあった数少ない中立国スペインからこの惨状が伝えられた事からスペイン風邪と

いう名前が付きましました。日本でも当時人口約6000万人のうち約40%にあたる、およそ2300万人が感染、死者は38万人にのぼった様です。今の日本の感染者数約193万人はその当時の約1/10。死者数約18000人は当時の約1/20。現在より医療の発達がなされていなかったことは言うまでもありませんでしたが、当時としては壊滅的な被害を受けていた事がうかがい知れます。スペイン風邪が1920年には終息したようですが、この頃世界では1918年にはカリフォルニア州サクラメントとバークレーのロータリアンが換気の悪い場所での会合を禁止、地元の屋外で例会を開催したり、2020年にはオンラインで例会が行われ、その頃には今と変わらない工夫が先人たちにより行われていました。その間にもロータリアンは世界各国で様々な世界の疾病に対する奉仕を市民活動や社会活動の最前線で行われていたことがRI第10地区のオハイオ州と第11地区のインディアナ州のガバナーの声明が残っています。1920年にスペイン風邪が終息したようですが、その直後に日本のローター初の東京RCが設立しました。くしくもスペイン風邪終息から100年後の2020年、日本ローター100周年を迎えた2020年に新型コロナウイルスが日本で拡大する事となりました。人類はこの様なウイルスとの戦いを幾度となく繰り返し、ロータリアンは成果を出し今日にいたります。我々もこの難局を乗り越え今できる事をこなして参りましょう。

## ★幹事報告：中川静夫幹事

1. 来々週例会終了後、定例理事会を開催させていただきますので、理事役員の方はご出席下さい。(ZOOMでの開催になりました)
2. 本日の週報に定例理事会の議事録を掲載させていただきますのでご確認ください。

## ★委員会報告：ありません。

## ★ニコニコ箱報告：清水会員

西原芳博：皆様、オミクロン株に負けず健康第一で頑張りましょう。

中川静夫：コロナ患者が減りますように。  
山田誠一：妻の誕生日、自祝。  
遠藤友一郎：1週間遅れましたが、新年おめでとうございます。オミクロン株が広がっていますが、私個人的には今年の秋ごろに安心できる様になる先がけと思っています。今年も宜しく。  
徐 正萊：妻の誕生日、お花ありがとうございます。  
林 博之：今年もよろしくお願ひいたします。誕生日のプレゼント有難うございました。  
荒山義雄：あけましておめでとうございます。  
長崎 武：妻の誕生日、素敵なお花有難うございました。

## ★卓話 テーマ

「広報・ホームページ委員会の取り組みについて」

卓話者 中川博之広報HP委員長

本日の卓話は、中川会員に「広報・ホームページ委員会の取り組みについて」をテーマにお話ししていただきました。まず始めに、自己紹介をしていただきました。1978年に東住吉区に生まれました。ローターに入会した当初は一番若かったのですが、日高さんや坂本さんが入会してきて今は3番目に若い年齢となっています。趣味は、コロナの間大変暇すぎて読書を始められ、特に健康に関する本や司馬遼太郎の歴史小説にはまり、そこで登場した人物のゆかりの地に旅行に行くのが趣味ということで大変興味深い話をしていただきました。あとサウナが1回6セット入るぐらい好きで全国にサウナ巡りをしています。その他にもウォーキングやランニングも毎日かかさずやっておられ楽しみながら健康に気を遣っておられることがよくわかりました。続きましてテーマであります、広報・ホームページ委員会の取り組みについて中川会員はYukiプランニングというホームページなど作成の会社を運営されております。その関係で昨年の川口直前会長からお声がけをいただきローターのホームページに携わることとなりました。具体的な内容としてはホームページのリニューアルから取り組み、パソコンだけでなくスマホやタブレットにも対応できるようにし、誰でもホームページを更新できるようにしました。今年度に入りメニューの位置の変更や、ローターアクトのコーナーの新設をいたしました。フェイスブックページでも毎週例会など更新しています。今年度

の大きな取り組みとして、作ったHPの活用を幅を広げていくこと、SNSでの情報発信、広報活動について取り組んでいます。具体的な情報発信としてフェイスブックを活用し、例会などがあれば撮影、記事づくりをその日のうちに行い会長・幹事に承認をもらって次の日の朝に投稿するようにしています。ターゲットとして経営者や経営幹部の方で30代40代50代それ以上の方を想定していますので昼に投稿するよりも出勤前の朝に投稿するようにしています。内容としては、楽しそうな写真をたくさん使い、声をかけた方などHPを見られた方に興味を持ってもらうようにしています。その他簡単に誰でもアップできるようなシステムにするなど、すぐに発信できる工夫をされています。そして情報発信も国際ロータリーや、ロータリーボイスや、取材先の関係者などに紹介してもらうなど広報面でもかなり工夫されています。中川委員長の細部にまでこだわりを感じられる広報活動が大変よくわかった卓話でした。

